

暮らしの中にある自然な支え合い

地域のお宝発表会

私たちが暮らす地域には、日常のお付き合いの中で、支え合いがたくさん行われています。しかし、多くの人は当たり前にある日常の営みであることから、その「お宝」のような大切さに気付いていないようです。

皆さんも自分自身の暮らしを振り返ってみると、日常のお付き合いや地域の集まりの中で、お互いに気かけ合い、支え合っている場面はありませんか？

この発表会では、こうした暮らしの中にある自然な支え合いを「地域のお宝」として、みんなでその意味や価値を共有したいと思います。



【坂下地区サロン体操の様子】

2月18日(火)

13:30~15:30

会場 会津坂下町中央公民館 大研修室
(直接会場へお越しください。)

参加費
無料

内容 ◎講演 ご近所福祉クリエイター 酒井保氏

ご近所福祉クリエイター

講師(聞き手) 酒井保氏



◎お宝発表会(6つの事例を紹介します。)

- 坂下地区「サロン体操」
- 広瀬地区「青木サロン」
- 金上地区「福原サロン」
- 若宮地区「ほっこりサロン」
- 八幡地区「植田接骨院サロン」
- 若宮地区「勝方サロン」

その人の暮らしぶりや身近な地域の中には紹介する事例のほかにも様々な支え合いの形があることがわかりました

ひとが集まる日常には、集まった同士が「気になる」という感情を揺さぶり合っています。そこから自然な支え合いが醸成されていく。もちろん事業としての支え合いも必要ですが、それだけを支え合いの指標としていいのでしょうか？「みまもり活動と言わない見守り動」「サロン活動と言わないサロン活動」は地域のあちこちに潜んでいます。このような支え合いが地域にとっても、自分にとっても、「お宝」なんだという価値を多くの人が共有して「これこそ大切な活動だよね！」と認め合い、その営みを地域全体で見守るということが、支え合いのある、より暮らしやすい地域づくりにつながっていくのではないのでしょうか。